

設置事例 レポート



ららぽーと横浜 様

立体駐車場（北棟、西棟）に約 2,600個のEP-Ⅲ型超音波センサを設置。
招き灯による誘導、パソコンによるリアルタイムの状況表示や利用状況分析等を行っています。



導入の目的

都市部近郊の大型施設のため、休日には周辺道路の渋滞が懸念されます。ららぽーと横浜様では、様々な混雑緩和対策が試みられています。弊社のセンサーや招き灯も、その一環でご利用いただいています。



天井設置型 車両センサー (EP-Ⅲ)



検知確認用LEDを採用

各車室の天井に設置し、車両検知を行います。
内部に搭載したLEDが在車検知時には「赤」、空車時には「青」で点灯します。

招き灯



柱間の駐車スペースが全て在車の場合は「赤」に点灯、一台でも空きがあると「緑」に点灯してお客様を誘導します。球切れの心配の殆ど無いLEDランプを使用。

パソコン&管理用ソフト



駐車場管理画面

立体駐車場内の2,600台全車室の入出庫、在車状態がリアルタイムで確認できます。(赤が在車、緑が空車車室)
画面上の車室にカーソルを合わせると、駐車開始時刻が表示され、さらにクリック操作で簡単に強制的な在車扱いが可能となります。

強制在車は、招き灯やフロア満空表示に即座に反映されます。

通過カウンター等からの情報も交え、屋外、屋上など、全4,200台の台数状況も数値で表示されるため、きめ細かな誘導管理が可能。

蓄積されたデータは遡って再現、分析することができます。

※実際の画面とデータは、異なります。